

平成29年度 国東市：全国学力・学習状況調査結果（中学校：国語）

1 結果のポイント

正答率	中学校：国語	
	国語A	国語B
国東市	79	72
大分県	79	73
全国	77.4	72.2

分類	国東市	大分県	全国	
	国語A	話すこと・聞くこと	75.8	75.9
書くこと		85.3	86.6	85.7
読むこと		73.7	74.6	73.8
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項		80.9	79.8	77.2
国語B	話すこと・聞くこと	70.6	72.3	72.4
	書くこと	62.0	60.8	60.8
	読むこと	72.7	73.1	72.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	46.8	42.1	41.4

・全国平均との比較では、国語Aは+1.6ポイント（昨年度：-1.6ポイント）で全国平均を上回り、国語Bは-0.2ポイント（昨年度：-1.4ポイント）となった。

（ただし、市・県の数値は少数第一位を四捨五入）
 ・当該学年が小学校第6学年の時の全国平均との差を比較すると、国語Aでは-0.3ポイント、国語Bでは-3.6ポイントとなっている。

・領域別では、国語Aにおいては「書くこと」-0.4ポイント、「読むこと」-0.1ポイントとなっている。国語Bにおいては、「話すこと・聞くこと」で-1.8ポイントという結果となっている。

2 課題が見られた問題と指導の改善事項

国語A ② スピーチをする

設問二

①趣旨 事実と考えとの関係に注意し、構成を工夫して話すことができるかどうかをみる。

◆学習指導要領における領域・内容

[第1学年] A 話すこと・聞くこと

イ 全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話すこと。
 <話すこと>

◆評価の観点 話す・聞く能力

②解答類型と反応率

② 二

生徒数の割合（%）

設問の概要	国東市	全国
スピーチの構成を説明したものとして適切なものを選択する		
◎1 1と解答しているもの	73.7	79.6
2 2と解答しているもの	7.5	6.9
3 3と解答しているもの	12.9	8.6
4 4と解答しているもの	5.9	4.7
5 上記以外の解答	0	0
6 無解答	0	0.3

◎が正答

◆正答について

筆者は、始めに「どのような違いがあるのでしょうか」とスピーチの話題を提示している。次に調べた事実を具体的に述べ、最後に「私は雨傘を大切に使いたいと思います。そして雨傘だけではなく、他の身近な道具も見つめなおして大切に使いたいです。」と自分の考えを述べている。

◆分析と課題

正答率は 73.7 % であり、相当数の生徒ができているものの、全国平均正答率 79.6 % を 5.9 ポイント下回っている。

解答類型 3 の反応率が 12.9 % である。これは、「どのような違いがあるでしょうか」という話題の提示を自身の考えと捉え、調べた事実を話題の提示と捉えたものと考えられる。

③指導の改善事項 事実と意見との関係を明らかにして話す

スピーチをする際には、事実と意見との関係に注意して話を構成するように指導することが引き続き大切である。また、スピーチの後に、事実と意見がそれぞれ明確に伝わったかどうかを振り返るように指導することも重要である。例えば、スピーチの様子を記録した動画を用いて、話の構成や文末表現などの観点から、事実と意見が分かりやすく表現されていたかどうかについて聞き手の立場から検討するなどの学習活動が考えられる。

国語 A **6** 文学的な文章を読む（「夢十夜」）

設問一

①趣旨 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領における領域・内容

[第 1 学年] C 読むこと

ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。〈文章の解釈〉

◆評価の観点 読む能力

②解答類型

6 一	設問の概要	生徒数の割合 (%)	
		国東市	全国
	登場する人物を整理したものに当てはまる人物の組み合わせとして適切なものを選択する		
◎ 1	1 と解答しているもの	68.8	74.8
2	2 と解答しているもの	6.5	7.2
3	3 と解答しているもの	10.8	9.0
4	4 と解答しているもの	13.4	8.5
5	上記以外の解答	0	0
6	無解答	0.5	0.5

◎が正答

◆正答について

夢の中にいる「自分」が、「仁王」を彫っている運慶の様子を見物している場面であるという設定を押さえたうえで、場面の展開や登場人物の言動に注意して読み、登場人物の相互関係を整理する必要がある。

◆分析と課題

正答率は 68.8 % であり、全国平均正答率 74.8 % を 6 ポイント下回っており、課題がある。

解答類型の 1 以外の回答は、30.7 % である。中学校に入り、問題文中のように登場人物の設定等を箇条書きで整理するといった丁寧な活動から遠ざかっているのではないかと考えられる。この点ができていなければ、登場人物相互の関係をとらえることが困難となり、主題はもちろん、内容も正しくとらえることができない。

③指導の改善事項 文章全体を読み、場面の展開や登場人物の役割等を理解する

文学的な文章を読む際には、目的に応じて時間的、空間的な場面の展開、登場人物の心情や行動、情景描写などに注意して読むように指導することが大切である。その際、文章全体を読むことによって、作品における登場人物の役割や人物の相互関係などが明確になり、内容の理解に役立つことがあることに気付くように指導することが重要である。例えば、各場面での登場人物の言動が文章全体に表れたものの見方などにどのように関わっているかを考え、それらの考えを交流して文章の理解を深めるなどの学習活動が考えられる。

◆関連する問題

【小学校】H26A **5** 物語の一部に入る適切な人物の名前を書く

国語A **9** 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

設問五

①趣旨 事象や行為などを表す多様な語句について理解しているかどうかをみる

◆学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項（1）イ

ウ 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話の文章の中の語彙について関心を持つこと。

②解答類型と反応率

9 五

生徒数の割合（％）

設問の概要	国東市	全国
話合いの記録として適切な語句を考える 次の条件を満たして回答している ①結論が出ていないという状況や、後でもう一度話し合うという状況をあ らわす言葉を適切に書いている。 ②漢字三字以内で書いている。 正答例 ・再検討 ・保留		
◎1 条件①②を満たして解答しているもの	38.7	35.8
2 条件①を満たし、②を満たさないで解答しているもの	0	0.3
3 条件②を満たし、①を満たさないで解答しているもの	54.3	49.2
4 上記以外の解答	1.1	1.6
5 無解答	5.9	13.1

◎が正答

◆正答について

結論が出ていないという状況や、あとでもう一度話し合うという状況をあらわす言葉を、結果の欄に書かれている「可決」や「否決」という言葉を参考にして、漢字三字以内で書く必要がある。

◆分析と課題

正答率は 38.7 % であり、事象や行為などを表す多様な語句について、場面や状況に応じて適切に使うことに課題がある。無回答率が、全国より低く、解答類型 3 の反応率が高いことから、適切な語句が浮かばないものの、何とか答えようとしたことが伺える。

③指導の改善事項 多様な語句・語彙指導の工夫

事象や行為などを表す多様な語句を、生活の中の様々な場面や状況に応じて、適切に使うことができるようにする必要がある。例えば、本設問のように学校生活の中での話し合いなど具体的な場面を取り上げ、その場の状況に応じた適切な言葉について考えたり、調べたりするなどの学習活動が有効である。その際、漢語などを用いて短い言葉で表すのがよいのか、文や文章を用いて丁寧に表すのがよいのかなど、目的や場面を踏まえて考えさせることが大切である。

国語B 1 文学的な文章を読む（「スコアNo. 4」）

設問一

①趣旨 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領における領域・内容

[第2学年] C 読むこと

イ 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。 <文章の解釈>

◆評価の観点 読む能力

②解答類型

1 一 1

生徒数の割合 (%)

設問の概要		国東市	全国
本の紹介カードに書かれている登場人物の様子が具体的に表現されている箇所として適切なものを選択する			
1	1と解答しているもの	8.6	5.1
2	2と解答しているもの	9.7	6.8
◎	3と解答しているもの	77.4	84.1
4	4と解答しているもの	4.3	3.9
5	上記以外の解答	0	0
6	無解答	0	0.1

◎が正答

◆正答について

【本の紹介カード】の「七葉」を評した言葉である「自由奔放」の意味を、文脈の中での的確に捉え、何にも捉われず自分の思うがままに振る舞う「七葉」の様子を描写している箇所を捜すと、「水に濡らしてみようよ、と言った」という箇所が当てはまることになる。

◆分析と課題

正答率は77.4%と高いが、全国平均正答率84.1%からは、6.7ポイント下回っている。

国語Aの 6 一と同様の課題があると考えられる。

③指導の改善事項

文学的な文章を読む際には、登場人物の言葉や行動が、話の展開や作品全体に表れたものの見方などにどのように関わっているかを考え、文章の理解を深めるように指導することが引き続き大切である。例えば、自分が着目した登場人物の言動を取り上げ、どのような人物として描かれているのか、他の登場人物とどのような関係があるのかなどについて、互いの考えを交流するなどの学習活動が考えられる。その際、自分の考えの根拠となる表現を文章全体の中から探して示すように指導することが大切である。

国語B 1 文学的な文章を読む（「スコアNo. 4」）

設問三

①趣旨 表現の仕方について捉え、自分の考えを書くことができるかどうかをみる。

◆学習指導要領における領域・内容

[第1学年] B 書くこと

ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。 <記述>

[第1学年] C 読むこと

エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分考えをもつこと。 <自分の考えの形成>

[第1学年] 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

オ 比喩や反復などの表現の技法について理解すること。

◆評価の観点 読む能力

②解答類型

2 一	設問の概要	生徒数の割合 (%)	
		国東市	全国
	比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く 正答の条件 ① <心に残った一文>に、【本の一部】から比喩を用いた表現が含まれる一文を抜き出して書いている。 ② <感想>に、①で取り上げた表現について、「誰(何)」の、「どのような」様子なのかを明確にして書いている。 ③ <感想>に、①で取り上げた表現について、感じたことや考えたことを具体的に書いている。		
◎ 1	条件①②③を満たして回答しているもの	46.8	41.4
2	条件①②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	4.3	3.2
3	条件①③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	4.3	8.9
4	条件②③を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	8.1	8.5
5	上記以外の解答	31.7	23.7
6	無解答	4.8	14.3

◆分析と課題

正答率は46.8%である。全国平均正答率41.4%を5.4ポイント上回っているものの、正答率が50%を下回っており、表現の仕方について捉え、自分の考えを書くことに課題がある。

解答類型3の反応率は4.3%である。このように解答した生徒は、<感想>に、<心に残った一文>で取り上げた表現について、「誰(何)」の、「どのような」様子なのかを明確にして書くことができていない。

解答類型4の反応率は8.1%である。このように解答した生徒は、<心に残った一文>に、比喩を用いた表現が含まれる一文を抜き出して書くことができていない。

解答類型5の反応率は31.7%で全国よりも高い。このように解答した生徒の多くは、<心に残った一文>に、比喩を用いた表現が含まれる一文を抜き出して書くことができていない。また、<感想>に「誰(何)」の「どのような」様子なのかを明確に書くことができていない。あるいは、<心に残った一文>に、比喩を落し板表現が含まれる一文を抜き出して書くことはできているが、<感想>に「誰(何)」の「どのような」様子なのかを明確に書くことができていない。また、感じたことや考えたことを具体的に書くことができていない。

◆関連する問題

H25B 2三 文章を読んで感じたことや考えたことを具体的に書く

H26B 3三 落語の演じ方を選択し、なぜそのように演じるのかを、本文を根拠に殿様の気持ちを想像して書く

H28B 3三 図鑑の説明を読むことで、よく分かるようになった物語の部分と、その部分についてどのようなことが分かったのかを書く

③指導の改善事項 本を読んで感じたことを交流し、ものの見方や考え方を広げる

文学的な文章を読んで、感じたいことや考えたことなどについて交流することは、自分のものの見方や考え方を広げたり、読書の楽しさを味わったりする上で重要である。例えば、印象に残った場面や描写を取り上げ、なぜその場面や描写が印象に残ったのかを具体的に説明する学習が有効である。その際、

取り上げた場面や描写がどのような内容であるのかを明確にしたり、感じたことや考えたことを具体的に説明したりすることができるように指導する必要がある。さらに、比喩や反復などの表現の技法についての知識を生かすなど、これまでの学習を踏まえた指導をすることも大切である。

また、新聞やインターネットの書評、本のポップなどを取り上げ、そこにかかれたものの見方や考え方と自分のものの見方や考え方を対比させて新しい考え方を知ったり、自分の考えを再構築したりする学習動も効果的である。

◆参考事例

「平成 24 年度【中学校】 報告書」 P 1 3 7

「平成 25 年度【中学校】 授業アイデア例」 P 1 1～P 1 2

「平成 26 年度【中学校】 授業アイデア例」 P 1 3～P 1 4

「言語活動事例集【中学校版】」 P 4 5～P 4 6、P 4 7～P 4 8

国語 B ③ 必要な情報を集める（「走れメロス」）

設問一

①趣旨 集めた材料を整理して文章を構成することができるかどうかをみる。

◆学習指導要領における領域・内容

[第 1 学年] B 書くこと

イ 集めた材料を分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成する <構成>

◆評価の観点 書く能力

②解答類型

③ 一

生徒数の割合 (%)

設問の概要		国東市	全国
下書きについての説明として適切なものを選択する			
1	1 と解答しているもの	2.7	3.2
2	2 と解答しているもの	18.8	13.6
3	3 と解答しているもの	9.1	7.6
◎ 4	4 と解答しているもの	69.4	75.3
5	上記以外の解答	0	0
6	無解答	0	0.3

◎が正答

◆正答について

【下書き】には、「走れメロス」の作者である太宰治の他の作品や、太宰治と関係のある作家、「走れメロス」の中の印象に残る表現、別の作品との関連など、様々な角度からの情報が項目立てて示されている。

◆分析と課題

正答率は、69.4 %であり、全国平均正答率 75.3 %を 5.9 %下回っている。目的に応じて情報を選択し整理することに課題がある。

解答類型の 2 の反応率は 18.8 %である。これは、【下書き】の「私が選んだ『走れメロス』の中の表現」の部分に作品の中の表現が書かれていることや、『走れメロス』と『人質』の部分に「走れメロス」のもとになったと言われている詩が取り上げられていることなどについて理解できないものと考えられる。

③指導の改善事項 材料のまとめりや書く順序を工夫して文章を構成する

新聞やパンフレット、発表のための資料などを編集する際には、紙面全体で何を伝えるのかという目的を明確にした上で、情報をどのようなまとめりで示すのか、どのような順序で配置するのかなど、構成を考えて書くことが大切である。例えば、同じ材料であっても、まとめりや書く順序の違いによって伝わり方がどのように違うのか、伝えたい事柄が適切に伝わるような構成になっているのかなどについてグループで確かめあい、助言し合うなどの学習活動が考えられる。